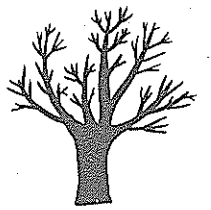


# 市民のば



## 国民年金を顧りみて

中田政春 (浜改田)

私は去る昭和四十年四月から五十年三月まで、国民年金地区組織委員として、十年間東金など年金に携わった。国民年金制度が具体的に成り立つた三十六年に、当時民生委員協議会が加入を勧めることになり、「民生委員が勧めることならば」と、私の担当地区の人々が多数加入しました。しかし、当時は今と違い経済力も充実してなく、不況でまたには失業も多く、また国民年金に対する認識も不足でそのためのいろいろの不慣れた雑音がありました。

入者が年々増えだしました。初め任意の人で加入をしぶっていたのが強引に加入させた人が、浜改田郵便局で十年年金を受け取った帰り路にわざわざ私宅にきてくれ、「おまんが勧めたくれたおかげでこんな多額の金をもうらうた。一生受給できること、こんな嬉しいことはない。息子や嫁に小遣いをくれというとはなく、反対に孫などに正月に小遣いをやれる。」といっていました。また、バスや電車などの乗場などで多数の十年年金受給者に会い、大変嬉んで礼をいってほしい私も本当に涙がでるほど嬉しかった。

かつて来高した劇作家、内村真也さんが、「標準語」というものではなく、「共通語である」と話したことがある。

その「共通語(標準語)」の普及はめざましく、土地と人の関係でアクセントに違いがあっても、すっかり定着した形。家庭では使わなくても家を出るなり、男女を問わず共通語にみごとに切り替えて変身してしまう。「共通語のよう」に、これも定着したといえる。

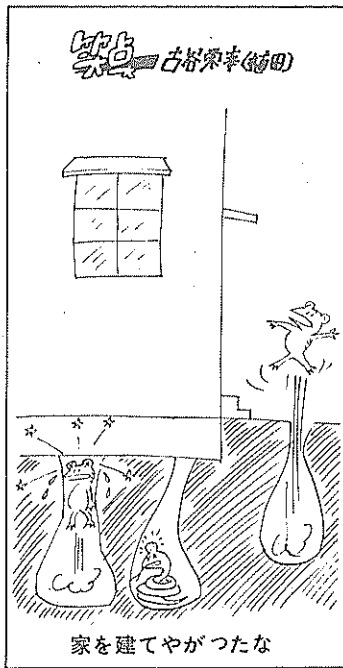
ところで、市内を歩いていて高校生と会話のさい、彼らの中には共通語の言い回しができにくく、訥(とつ)弁になることがある。とくに山間に住んでいる場合は外来者との交流が少なく、家庭では方言が「生活語」だから共通語に慣れにくいはずで無理はない。しかし、高卒就職者で共通語がすらすら話せないため、コンプレックスに陥った話を二、三聞いたことがある。こんな例は、職場・社会に多いといわれる。訥弁を純粋に備わっている時代ではなく、話し方―話術といったものを考えてみる必要がある。

## 共通語になれよう

## 気持ちのよい三人

知人O氏の名刺には、「百姓と書いてある。大学は出てない。だがO氏は頭が良く面白く話をする。京都大学から話しかけてくれた。とびたび言われたが、そのつど首を横に振っていたが、ついにこたわりきれなくなり、先日京都に行き教授を集めて一席ぶつて笑わしたそう。気の合った友と酒を呑んで時計の廻るのを忘れる面白いです。

私の担当した浜改田地区は、農業六分、漁業二分、労務作業員その他二分くらいの土地で、今のようにはハウス園芸も盛大でなく、漁業も旧式漁法から近代的な機械バ



家を建ててやがったな

先日は道路の件で建設省へ行った。提出する書類が初めてのこととてなかなか難かしい。これをいともいねいに、一時間近くもかかって説明してくれた。T氏と会う方であった。お役所でこんな気持ちの良かったことは珍しい。なんにも知らずに役所へ行く者も多いうら、T氏のような方が居れば役所へ行くのが楽しみである。

三谷勇喜(稲吉)

## 詩

### 面影

帰りたいあの町  
やさしい昔の匂いこもる  
木々のしじまを通りたい  
あの時の景色そのまま冬枯れの  
いてつく道を歩きたい  
やけつくような夏の日の  
汗ばむ道を歩きたい  
母校の庭に生い茂る  
枝もたわわのくすのきの  
大樹は知っていたらどう  
甘える友がいた  
美しい友もいた  
喜びの朝に輝き  
悲しみに泣いたあの町  
なつかしい  
青春の町

刈谷益子(後免町)

### あなたからの手紙

春の日だまりの中  
あなたからの手紙を読んでいる  
あなたのやさしき読みかえす  
何とも読みかえす

時が止まり日だまりの中  
働きもせず考えもせず  
あなたの手紙のやさしき  
一人こうしてすわっていても  
けつして一人ではないことが  
わかる

今わたしは日だまりの中  
何とも何とも読みかえす  
二枚目のびんせんの  
だけど文字は半分もない  
あなたからの手紙を読んでいる  
あなたのやさしき読みかえす  
何とも何とも読みかえす

川久保尚亮(金地)

## 南国俳壇

流刑地のこぼれ陽捨う橋の実よ  
青年に羽毛降り来る夜の坂  
一本の樛が鈍器としてある 雪田  
呼応して霧を生みだす遍路うた、  
北に雪わが前に雪年笛なる  
只今と大きな声で草の突つけ  
飲み過ぎた男の葬や日脚伸ぶ  
片車線止めて土工の缶焚火  
彫り終えし樵の虎に風騒ぐ

## 南国歌壇

霜焼けにふくれし手足採みやりつ  
常なく孫となが湯するなり  
笠ノ川 葛目治子  
妻の座が算婦とかわりし遠き日の  
かなしみ残る黒髪洗う  
笠ノ川 岡崎冬身子

岡豊町 橋田井波

立田 北村幸江

## 広報委員の目



## 気持ちのよい三人

知人O氏の名刺には、「百姓と書いてある。大学は出てない。だがO氏は頭が良く面白く話をする。京都大学から話しかけてくれた。とびたび言われたが、そのつど首を横に振っていたが、ついにこたわりきれなくなり、先日京都に行き教授を集めて一席ぶつて笑わしたそう。気の合った友と酒を呑んで時計の廻るのを忘れる面白いです。

先日は道路の件で建設省へ行った。提出する書類が初めてのこととてなかなか難かしい。これをいともいねいに、一時間近くもかかって説明してくれた。T氏と会う方であった。お役所でこんな気持ちの良かったことは珍しい。なんにも知らずに役所へ行く者も多いうら、T氏のような方が居れば役所へ行くのが楽しみである。



ご家庭で話し合っ答えてください。答えは今月号の広報に出ています。

■もんだい  
最近、国庁跡発掘や国分寺境内発掘など、市内では「〇〇の夢を追う発掘」が行われている。  
■しめきり・3月15日(水)  
■おくり先・〒783 南国市大通 南国市役所内 広報委員会 親子クイズ係  
■答えのハガキには必ず お歳・職業を書いてください。

■しょうひん・特賞1,000円 = 3人 残念賞(記念品) = 10人

### 第65回正解者発表

■こたえ  
⑤⑥④人が仲間入り、でした。  
■特賞・1,000円 = 3人  
高島美知子さん(稲吉)  
金堂義光さん(東崎)  
野崎房子さん(藤原)  
■残念賞・記念品 = 10人  
北村多都子(領石) 杉本薫(住吉野) 田中幸一(稲生) 坂本鶴子(岡豊町小笠) 松村鈴香(岡豊町八幡) 加納悦子(大桶) 岡林保江(久礼田) 岩崎京子(矢崎) 高橋伸輔(稲野) 奥宮まや(大桶)  
おめでとうございました。これからもどしどしご応募ください。

## 原稿募集

広報なんこくでは「市民の声」など市政に対する建設的なご意見、女性のほのほとした随想「つくし」欄などへあなたの参加をお待ちしています。  
マンガ、詩、短歌や俳句などもお寄せください。